

高尾山モミ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署
所在地	東京都八王子市
面積	4.85ha
設定年	平成2年(設定)、平成30年(統合・名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	モミの天然分布の限界と言われている暖温帯上部から冷温帯下部に成立しているモミ林で、植生分布上及び学術上貴重であることから、分布限界のモミが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



モミの実生

モニタリング調査概要

実施年度	平成21年、平成26年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、モミの生育地において調査プロットを合計3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握した。
結果概要	全体として安定して維持されていると考えられるものの、ニホンジカによる剥皮や枝葉食が確認され、下層植生が減少していることから、ニホンジカの採食圧による影響がみられた。また、カシノナガキクイムシの穿孔も各調査プロットで確認され、まだ枯死には至っていないが、ブナ科樹木が健全に生育を継続できるか注意を要する。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。